

本計画の進め方や今後のしみん会議のワークショップの流れなどの説明の後、商店街等の取り組みの説明をインタビュー式で地元の方々にお話を伺いました。

■下大利商店会の取り組み

- ・七夕まつり（7月7日前後の土曜日に開催）
- ・ハロウィンパーティ（10月31日に開催）



■白木原商店会の取り組み

- ・レンタル傘の事業（2014年8月から開始）



■錦町通り商店会の取り組み

- ・ワンコインデー（奇数月の最終週の金・土曜日に開催）
- ・軽トラ市（2011年から開催）



■大野城市商工会の取り組み

- ・わくわくパピリオンの事業（現在22事業）
- ・三輪車3時間耐久レース
- ・グルメ食覧会
- ・仮線敷の散策



●第1回 しみん会議参加者アンケートより（一部抜粋）

- ・他県の成功例をみたい。
- ・今回のまとめに、次回の検討項目を予め示し、各自考えをまとめて参加できるように進めてください。
- ・防犯、防災のことも考えてもらいたい。
- ・春日原（東町北町）商店会の意見も聞いてみたい。
- ・高架下事業に対する思いや意見、ビジョン等について温度差がありすぎるように感じた。
- ・今回はわかりにくかった。質問からの説明で多少理解できたが、もうちょっと進め方を考えてもらいたい。

●次回の案内

第2回しみん会議

◆検討事項：地図を使い、いこいゾーンや賑わいゾーンなどのゾーニングを考えていきます。

・下大利～白木原

日時：平成27年1月19日（月）19:00～
場所：中央コミュニティセンター

・瓦田～福岡市境

日時：平成27年1月26日（月）19:00～
場所：大野城市役所

●しみん会議のスケジュール

第1回 平成26年12月9日（火） **終了!**
テーマ：これからのまちづくりを考えよう！

第2回 平成27年1月19日（月）・26日（月）
テーマ：まちの将来像を考えよう！1
◆地図を使い、いこいゾーンや賑わいゾーンなどのゾーニングを考えていきます。

第3回 平成27年2月16日（月）・18日（水）
テーマ：まちの将来像を考えよう！2
◆第2回しみん会議を踏まえ、高架下のまちづくりの将来の方向性を考えていきます。

しみん会議

ワークショップニュース 1号

西鉄の高架事業に伴い、高架下の空間の活用やその周辺にある商店街などの地域を含めた一体的なまちづくりを考えていくためにも、そこに住む市民の皆さんが求めるまちづくりについて把握するため意見の把握を行い、整理していくのがこのしみん会議の目的となります。

これから平成26年度、27年度の2ヶ年かけ、8回のワークショップを行っていきます。その中で出された皆さんのご意見やアイデアを、このワークショップニュースでお知らせしていきます。

第1回ワークショップ

テーマ：これからのまちづくりを考えよう！

日時：平成26年12月9日（火）19:30～21:30
場所：大野城市役所311・312会議室

第1回しみん会議は、ファシリテーターに吉田まりえ氏（九州の暮らし創造研究所代表）を迎え始めました。

今回の会議のねらいをしみん会議の参加者を対象に、本計画の目的やスケジュール、しみん会議の役割及び検討事項等、共通理解の醸成とし、本計画に関する説明を市の方より行いました。

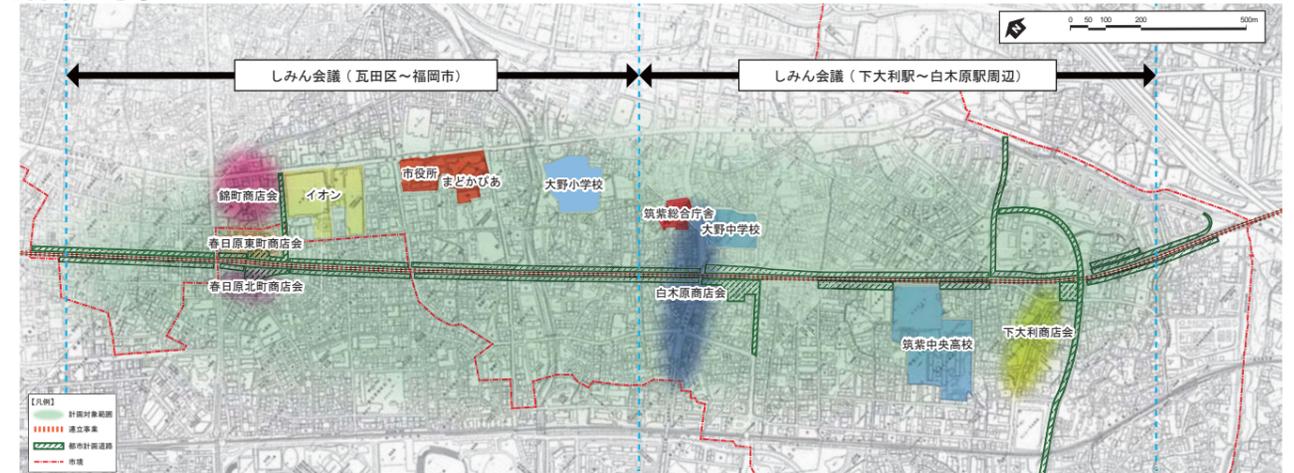
第1回プログラム

- 19:30 開会あいさつ
- 19:40 参加者自己紹介
- 19:55 本計画に関する説明
- 20:10 商店街等の取り組み
（下大利・白木原・錦町の3商店会、大野城市商工会）
- 20:30 感想の共有
- 20:50 質疑応答
- 21:20 事務連絡等
- 21:30 閉会

■計画の目的

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業により創出される高架下空間とその周辺地域（対象区域）については、中心市街地としてふさわしいにぎわいや回遊性の創出を図ることにより、まちの魅力を向上させることが求められている。そこで本計画においては、高架下空間全体及び側道の活用、商店街を含む鉄道沿線地域の活性化を一体的に捉え、これらを推進するための相互的なまちづくりビジョンと空間整備計画の検討を、市民・鉄道事業者・行政の協働で行い、基本計画を策定する。

■計画の対象



今回のワークショップが初めてということで、下大利～白木原グループと瓦田～福岡市境グループの2つが一同に集まりました。本計画の主旨を理解してもらうために説明後、参加者の方々から様々な質問をいただき、その質問に対して事務局からの回答を受ける時間を設けました。

第1回 しみん会議 議事要旨

日時：平成26年12月9日（火）19：30～21：30

場所：大野城市役所 311・312 会議室

参加者人数：25名（下大利～白木原：15名、福岡市～瓦田：10名）

■まちづくりに関して

Q：平成25年に高架下のワークショップについてまとめた資料を提示してもらえないか。

また、前回と今回では、何が違っているのか。

A：（都市計画課）平成25年のワークショップは大野城市の総合計画の後期基本計画に市民意見を聞くために実施した。まとめた資料の提示は、次回以降、提示する。

また、前回との違いは、高架下の活用に対して市民意見を基に西鉄とも協議を行いながら方向性を決めていくため、意見の反映が具体的である点が違っている。

Q：西鉄が便利になると天神にますます人が流れないのか。

A：（都市計画課）市としては、天神から大野城市へ人を呼ぶのが大きなまちづくりの目標であるため、天神に流れないようなまち、計画、取り組みを行っていく。

（産業振興課）西鉄の高架事業で利便性が高まるという中で、大野城市に様々な人が住んで、訪れてもらえるような魅力あるまちづくりを、高架下の計画とは別に並行して取り組んでいる。

■市民意見の反映について

Q：すでに市が計画を決めているのではないか。

A：（都市計画課）市で計画は決めていない。今後、市民意見を反映した計画を策定予定。

Q：意見はどの程度反映されるのか。

Q：一番心配をしているのが、一生懸命話し合っている事が無駄になるのかならないのか。

Q：具体的に高架下の利用について西鉄側との協議というのはできるのか。

また、どこまでの面積を提案できるのか。

A：（都市計画課）高架下は西鉄所有の土地であるが、そのうちの15%を自治体で活用ができる。今回は、15%の数字にこだわることなく、自由にいろんなことを検討して頂き、計画対象となる面積が全体の15%以上になった時は、西鉄側との協議等を、市が責任を持って行いたい。ただし、15%以上の部分は協議になるので約束はできない。市民意見を無駄にしないように精一杯努力していくが、できる、できない等は、法的な部分も含めて整理をする必要がある。対応が難しい場合は、この会議でその状況を示していく。

Q：自治体の意見が反映できる15%に対してこういう話し合いをしているが、結局、西鉄側による沿線の住民の理解を得るためのアライバイ作りのようなものではないのか。

A：（都市計画課）西鉄は、しみん会議の意見を技術的にまとめるデザイン会議に参加している。これは西鉄側に協力を促しやすいようにしていこうと考えているからである。

Q：活用できる範囲は、容積に対して15%を大野城市が活用できるということなのか。

残りの85%は西鉄側がある程度、構想しているのではないのか。

A：（都市計画課）容積というよりも高架下の面積、平面に対して15%ということである。

それから、西鉄側の構想は今のところ全くないとの回答を受けている。

一般的に、西鉄側は大体事業完了（平成33年予定）の3年位前から具体的に協議、検討を開始するとしている。そのため、早目に計画を策定して西鉄と協議を行い、市民意見の実現をめざす。

Q：今回の計画において、何ができて何ができないのか。

A：（公園街路課）できる、できないという話はハード面になると思うが、今の段階では常識の範囲でとしか言いようがない。例としては、公園や広場、保育所など。意見が何も無いときは、駐車場や空き地などになっている。

■「しみん会議」の位置づけについて

Q：この会は誰に向けて意見を言っていく会なのか。また、自分たちの意見がどういう風にまとめられ誰に向けて言っていくのかというような位置づけを教えてください。

A：（都市計画課）高架下の活用やその周辺のまちづくり、整備などは、市と市民の方々に計画をつくり、その案を固めたのち、関係する西鉄やその他の自治体などに市の方から協議、提案をしていくような流れを考えている。

Q：こういった意見をどなたがまとめられて、どういうまとめられ方をされているのか、それが一体どういう風に扱われるのか。

A：（都市計画課）この会議で出された意見は、市、西鉄、デザインの専門家で構成するデザイン会議で技術的な面から実現可能な提案となるよう協議を行い、資料のとりまとめはコンサルタントが行う。

その資料は、まち会議で他の計画・事業との整合性等も確認し、それをもとに市が西鉄や近隣の自治体との協議を行う。その結果については、可能な限りしみん会議とキャッチボールを行う。

■高架下の活用について

Q：用途によって高架の構造は変わるのか。

A：確認してはいないが、用途のためにわざわざ構造を変えることはしないと思われる。あくまで高架橋をつくり、その中でできるものを入れ込む方法であると思う。

Q：高架下の道路の幅員はどうなるのか。これは今回の前提条件になると思うので、その基本がないまま、意見を出せと言われても困る。

A：今後、2回目、3回目に必要な情報は提示する。またこういうものがほしいという要望があれば、提示していく。しかし、本日の会議は大枠的な話として理解してほしい。